

## 西区 西内野コミュニティ協議会

活動名：夜間防犯パトロール

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の防災防犯を自らも守る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

時間帯は夜間、西内野の全域を対象としてパトロールを行い、防災防犯を促し少しでも安心安全な地域づくりを行うこと。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

全自治会から巡回員をお願いし、拍子木、提灯、防犯灯、腕章を携行し、決められた地域を班に分けて計画的に巡回する。夏が終わる9月～11月実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

活動中は、火事や不審者等の事件は今までなく、住民は安心安全を感じていた。パトロールで回ること、事件・事故の抑制に一役買ったのではないかと期待できる。毎年継続することで、さらなる効果が期待できる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

万が一、不審者等に遭遇した場合は、警察に連絡をし、自分では対応しないようにした。民間では、限度がある。毎年パトロール員が違うので、その点については、会議で重々お願いしている。一人では行わず、身の安全のため数人のグループで巡回してもらっている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

西内野小校区では、定着している。今後も自治会の協力を得ながら継続し、地域の安心安全に努めたい。



# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：防犯ボランティア活動事業

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 安心安全に暮らせる地域環境づくり。
2. 自転車を利用しての通勤通学者が増加したことにより自転車盗難事件が発生している。
3. 不法侵入盗難事故防止。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 寺尾交番、西区役所と連携し、地域住民の安心安全な生活を守るため防犯パトロールを行う。
2. 小中学児童が安全に通学できるよう節目節目に防犯パトロールを行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 寺尾駅、新大駅前自転車盗難パトロール。
2. 商業施設における車上狙い盗難防止パトロール。
3. 自転車施錠のチラシ、防犯チラシの配布。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 前年度に比較し自転車盗難被害を減少させた。
2. のぼり旗、チラシ配布で防犯意識を高めた。
3. 盗難件数を削減した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

西警察署、寺尾駐在と連携を図り、より一層のパトロール体制の強化が必要。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

本事業は継続的に行うことが重要なことから次年度以降も継続する。





## 活 動 内 容

### Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 大規模な災害時に、地域全体で的確な対応ができるよう中学生を対象に応急措置技術を身に付けさせ、大人の助力となるように養成する。
2. 災害に対応できる人員の増大を図る。

### Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 災害時に備え、中学生を対象に防災に関するスキルを高める。
2. 中学生の先輩から後輩に防災意識を継続させる。

### Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 心肺蘇生・AED 使用訓練
2. 応急手当・搬送訓練
3. 初期消火訓練

### Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域消防署及び消防団

## 実 績 ・ 効 果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 訓練を行うことで緊急時に的確に行動できると思う。
2. 災害時に地域の大人と連携し防災活動ができると思う。
3. 中学時代に防災意識を備えることで、地域内外を問わず応急対応ができる。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 中学生の部活動と重なり、参加人数が少なかった。
2. 次年度以降は、学校と連携を図り参加者を多くする。

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害時の緊急対応が重要視される昨今、緊急対応措置の必要性が求められていると思うので、次年度以降も養成講座を継続し行う。





## 西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

- 活動名：
- ・ 災害時避難所調査と民間締結
  - ・ 防災の現状調査と消防機関との実態と検証

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の防災対策として災害時避難所収容確保は十分にできているのか。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

災害時避難所収容確保は十分にできるのかまた住民行動が整理されているのか。  
季節風の強い冬季を例に火災の延焼危険度と防火対策は十分なされているか。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1, 現況地図検討会資料をベースとした、机上での危険度・難易度の調査。
- 2, 調査結果に基づく、行政・西消防署・消防団との意見交換会の開催。
- 3, 災害時避難所収容確保と地域住民行動の整理。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

行政・西消防署・地元消防団

### 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

万一の火災に備えた危機感と対策レベルはどうかなど、関係機関と一体となった検討ができたこと。  
災害時公設避難所の確認と私設設備(地域内大学)との協定書締結ができたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

現状を把握するための問題点の洗い出しと、関係行政や施設管理者との交渉など。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度以降も、地域防災のあり方と課題解決に向けて行政と連携し安心安全な街づくりへの提言を進めること。

## 西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災訓練実施・避難マップ作成

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災後、避難に関心が深まり、またどのように対応すべきか、ということになりました。また、小針地域は河川遡上による津波被害が想定されます。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

避難訓練（地震津波）の実施と避難マップ（新潟市に協力）の作成をする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防災訓練等は防災防犯部会長を始め部員の企画運営と、小針小学校の協力を得た。避難マップの作成は新潟市主催の検討会に参加し、マップ作りに協力した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

小針小学校・新潟市

### 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災訓練を毎年開催することで防災意識の向上が図られた。また、避難マップは平成27年度に作成される見込みである。（各家庭に配布予定）

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

自治会の避難経路及び災害発生に対する関心が薄いため、情報収集に支障があった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

防災訓練、防災講演会、防災セミナーの開催を通じて防災意識の向上を図る。



## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：各自治会に於ける高齢者を支える担い手の育成

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

介護保険制度の見直しが見込まれる中、高齢者に対する支え合う体制が急務とされているものの、当地域の現状では、全く体制が整っていない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域での高齢者を支える体制作りのため、活動に取り組むリーダーの育成を行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. リーダー育成講座を3回実施すると共に、意見の交換会を合わせて行った。
2. 現状を把握するためアンケート調査を行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

### 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 担い手育成講座を3回行った後にアンケート調査を行った結果、地域内での高齢者の見守りに関心が高まった。
2. 地域内での安心安全な生活が過ごせるよう環境整備が期待された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

個人情報に関わる点も多く、アンケート調査に対し多くの自治会から回答が得られないと考えていたが、44自治会中43自治会から回答が得られた。関心の高さが覗かれる。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

アンケート結果及び地域内の関心の高まりを勘案し、今回同様の研修を平成28年までの3年計画すると共に、高齢者の見守り支援を継続したい。



## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：地域と学校連携あいさつ運動

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 当地域に限ったことでないが、子供に対する不審な声掛け、連れ去り事件も危惧される。
2. 子供同士、地域住民でも親しくない人にはあいさつをしない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 小中学生の登校時に子ども同士、また、子供と大人が気軽にあいさつを交わす。
2. あいさつを交わすことによって地域住民同士の絆を深め、安心して安全なまちづくりをする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. あいさつ運動のチラシを全世帯に配布する。
2. あいさつ運動「のぼり旗」を作り通学路及び各自治会や学校に設置する。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井輪中学校、新通小学校、坂井東小学校

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

学校と連携してあいさつ運動をしたことによって、子供たちから自然にあいさつをもらえるようになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. のぼり旗を作成し、学校及び街頭に設置した。
2. あいさつ運動強化月間を決め、街頭立哨を行った。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

小中学生に限らず、大人を巻き込み地域住民の絆を盛り上げ、安心して安全なまちづくりをするため次年度以降も継続する。

# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：緑のカーテン植樹普及事業

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 地球温暖化を加速させる二酸化炭素量の削減
2. 省エネ、節電
3. 学校児童含めた地域住民の環境意識の高揚。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 二酸化炭素を吸収するゴーヤを植える。
2. ゴーヤのカーテンを作り省エネにつとめ、二酸化炭素を削減する。
3. 学童および地域住民と共同作業を行い、地域全体で環境意識を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 地域住民を対象に、ゴーヤの育て方及び調理講習会を行った。
2. 地球温暖化防止についての講習会を行った。
3. 各自自治会へチラシ配布すると共に、ゴーヤ苗を配布した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 環境意識及び環境に対する知識を啓発することができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. ゴーヤ苗の希望者が多く、配布に時間を費やす事もあった。
2. ゴーヤの成長は早く、チラシ等およびPR 活動のタイミングに苦慮した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 広報紙及び公共施設に写真を展示し、多くの皆さんから地球環境意識を高めていただけるよう次年度以降も継続したいと思っております。



# 我が家の自慢のゴーヤの 写真を募集します！

## I 緑のカーテンの部の写真例

6月にお配りしたゴーヤの元気な姿や、立派に育った緑のカーテンの写真などをお送りください



## II 料理の部の写真例

我が家自慢の、ゴーヤ料理の写真をお送りください



坂井輪中学校区まちづくり協議会・生活環境部会では、ゴーヤで緑のカーテンをつくり、夏を快適に過ごす活動をすすめています

このたび、緑のカーテンやゴーヤの料理などの「我が家自慢のゴーヤの写真」を募集します

### 募集する写真

#### I 緑のカーテンの部

#### II 料理の部

写真を2L(178ミリ×127ミリ)に焼いて、写真の裏面に、①自治会名、②お名前・住所・電話番号を記入し、封筒の表に**写真在中と朱書き**して下記にお送りください  
また、まちづくり協議会事務所へ直接持参されてもよろしいです

応募いただいた写真は、自治会名とお名前を記入して、「まちづくりセンター」で展示する予定です  
(展示予定期間：9月10日～9月末日)

また、後日に写真をお返しし、薄謝をお送りいたします

**募集期間：8月1日～8月31日**

**写真の送り先：950-2055 西区寺尾上3丁目1-1**

**坂井輪中学校区まちづくり協議会 事務所**

問い合わせ先：生活環境部長 渡部正幸 電話番号・携帯：090-2677-8824

# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪を花で飾ろう 2014 推進事業

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 潤いのある緑豊かな生活環境の確保、豊かさゆとりを実感できる生活環境を作る。
2. 地域住民との共同作業を行い地域内のコミュニケーションを図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 住民1人一人の協力を得、公共の場を美しく保つと共に緑化意識を高める。
2. 西区住民のコミュニケーション意識を深める。
3. 生き生きした坂井輪を作る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 学童、地域住民、構成団体等にチラシ配布しボランティアを集う。
2. 春（ベゴニア）と秋（ビオラ、チューリップ）の2回、花の植栽活動を実施した。
3. 植栽場所は、西区役所、西消防署寺尾出張所、新潟大学駅前、寺尾駅前広場等。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井東小学校、新通小学校、坂井輪中学校

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 学童と地域住民のコミュニケーション意識を高めることができた。
2. 公共場所を花々で美しく飾り、潤いがえられた。
3. プランターに学童の一言メッセージをもらい、爽やかな印象を与えた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 花植え指導者育成
2. ボランティアの募集

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 植栽作業の写真を広報誌に掲載すると共に、公共施設に写真を展示したいと考えております。

## 坂井輪を花で飾ろう2014推進事業記録

第1回目：6月14日（土）

地域の方々、小学生、中学生のボランティアが集まってくれました



プランターを良く洗い、培養土を入れて3種類のペゴニアの配置を決めます。



## 西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：一斉清掃・花文字花壇作り作業

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

コミュニティ全体の「地域環境愛護の心と連帯感の醸成」が求められている

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

関屋分水路の一斉清掃・花文字花壇作り作業を通して、地域の環境美化と連帯感の醸成を図る

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

各自治会に参加の募集パンフレット回覧用配布

小学校区育成部や地区婦人会のトン汁「お楽しみ昼食会」の協力

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

北陸地方整備局信濃川下流河川事務所

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

関屋分水路左岸の美化と関屋分水路花文字事業の周知

地域住民の環境美化意識の高揚及び連帯感

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

活動時、花文字花壇の場所が斜面の為、事故のないように声掛け

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

歴史のある活動の為、地域の連帯と美化をめざして継続的に展開していきたい







# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪中学校区地域自治会役員等研修会

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当まちづくり協議会の各自治会は、組織的に見ても全体の半数近くの役員任期が1~2年で交代し自治会活動に戸惑いが見られる事から自治会役員等の研修や行政・他団体との意見交換を行い、原点に戻り自治会の役割と諸問題についての解決を行う。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

住みよい郷土づくりをするため各自治会で抱える問題・課題を提案してもらい、それらの諸問題について、意見交換を行い解決方法について指導する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 自治会の役割と活性化策についての講演。
2. 自治会組織体制と活動の問題についての事例発表。
3. 地域課題についての意見交換。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所地域課

## 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. コミュニティ活動についての理解を得られた。
2. 講演や事例発表により地域課題解決策の一助となったと思う。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

1. 各自治会の概況調査を実施し、自治会で抱える問題点を把握し研修会のテーマを検討した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当まちづくり協議会では、自治会長等役員研修会で得られた結果を参考にし、定期的実施する三者合同研修会及び情報交換会に反映させたいと思います。

# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：さかい輪 健康づくりフェスタ 2014

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

高齢化社会を迎え予防医学の大切さが注目されているため、地域住民で健康維持への関心を高める。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 家庭で簡単にできる運動を指導する。
2. 脳トレ運動で脳の活性化を図る。
3. 参加者同士の交流を深め、地域づくりを推し進める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 体力測定を行い、体力・筋力を認識させる。
2. 体力に合った筋力アップ運動を指導した。また、脳トレ運動とリズム体操を行った。
3. チラシ配布、広報紙に掲載した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

ダッシュスイミングスクール新潟、西区健康福祉課

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 運動効果により健康維持の大切さは理解できたと思います。
2. 軽度な運動を通し地域住民の交流が行われ、地域のつながりはできたと思います。
3. 生活習慣を見直す機会ができたと思います。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 参加者の年齢差による運動方法の振り分け指導。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 地域住民が健康運動を通じて、お互い地域の交流の場を提供することができるので、今後も継続し実施したいと考えております。

坂井輪中学校区まちづくり協議会

新潟市補助事業

# さかい輪健康づくり教室

(26.10.26)

3/2





新潟市補助事業

さかい輪健康づくりフェスタ2014

(26. 6. 22)



## 西区 坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

活動名：青少年健全育成講演会&ふれあいトーク

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

高齢化が進むなかで、災害時における地域や近所どうしの助け合い

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域の繋がりや、人と人との繋がりを考える

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・難しい講演会のイメージをなくし、新潟お笑い集団「NAMARA」所属の方を講師に。
- ・演題は、～世代を超えた地域とのつながりをかんがえる～
- ・講演終了後、グループ分けし講演のテーマに沿ったディスカッションを実施。  
(各グループに1人ずつ講師が入り進行するようにした。)

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

小新中学校のランチルームを講演会場として借用

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

災害時だけでなく日常の地域活動にも効果を期待

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・講演を聞くだけでなく、講演終了後グループ分けし、講演のテーマに沿ってディスカッションを実施、グループ毎に講師が入り進行するようにした。
- ・意見・要望及びアンケート調査を行った。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

好評だったので校区内の32自治会を幾つかに分けて、実施できればと考えている。

## 西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：こばりっこ新春かくし芸大会

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の子供達と地域住民による連携不足が見られる。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子供達と地域住民の地域課題の共有を図る目的の1つとして、イベントを開催する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

こばりっこ新春かくし芸大会及びこばり七夕まつりの開催

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

小針小学校

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

小学生、保護者、地域住民のコミュニケーションが向上した。  
(挨拶の実践と地域活動の参加)

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

青少年健全育成部会が担当したが、協力者の確保に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

事業は毎年開催予定であるが、新規イベントによる地域おこしを企画し活動する。

## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：トラック事故防止の交通安全教室

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

子供は身体が小さくトラックの死角になりやすい面を有しており、痛ましい事故も発生している。また、本年度、西区に於いて高齢者が大型車の左折巻き込み事故にあった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 子供やお年寄りを大型トラックの運転席に乗せ運転者の死角を確認させる。
2. 事故被害の大きさを認識させる。
3. 交差点の危険性を学び、安全に関する意識を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

坂井東小学校及び新通小学校のそれぞれの学校に於いて、9トンの大型トラックでの死角、交差点での巻き込み事故の怖さを認識してもらった。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 児童の登下校時における事故防止の心構えが出来た。（特に大型車への認識）
2. 参加した地域の高齢者に貴重な体験を教えることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 参加者全員から運転席を体験してもらうようにした。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

時間が経つと安全意識が薄れないように毎年継続で行いたい。





# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：地域の安心安全・命を守ろう推進事業

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 日常生活の中で車が主流となっていること、また近年高齢化が進み高齢者が事故に巻き込まれることが多くなった。
2. 坂井輪中学校区地域の交通安全推進活動が重要である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域住民の安全・命を守るため推進会議を行う。
2. オリジナルの「交通安全のぼり旗」を作成し、各自治会に配布する。
3. 街頭指導で交通安全を呼びかける。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 事業展開のため、交通安全推進会議を年5回実施した。
2. オリジナルの「交通安全のぼり旗」を150本作成し、各自治会に配布した。
3. 「交通安全のぼり旗」を持って交通安全の呼びかけを行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井東小学校、新通小学校、坂井輪中学校

## 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 「交通安全のぼり旗」を目印に、地域の方々はじめ学童たちに注意喚起ができた。
2. ボランティア及び各自治会の協力を得、街頭立哨を行ったことで学童たちの登下校時のマナーが良くなった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. ボランティア及び各自治会からの街頭立哨の参加・協力を得ること。
2. 「交通安全のぼり旗」の設置場所に関する住民からの協力を得ること。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

交通量の多い道路を有する自治会を重点に交通事故防止活動を行う。



# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：親子の居場所事業

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 子供の数が減少する現社会において、子育てが課題となっている。
2. 地域の大人が、様々な立場で話し合い共に力を合わせ地域の子育てを醸成する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域に於ける、親子の安心・安全な居場所を作る。
2. 保護者世代に地域の担い手となってもらう意識を持ってもらう。
3. 地域の子供を地域で育てる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. まちづくりセンターオープン記念事業に「カプラで遊ぼう」を実施。
2. 「坂井輪プレーパーク 7」を開催。
3. 小学校5・6年生に居場所についてアンケート実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井輪中学生ボランティア

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 子供の遊び場を作ることによって、子供たちが工夫し遊ぶことができた。
2. 子供たちが体を動かして遊び、トラブルがあっても自分たち仲間で解決すようになった。また、中学生がボランティアとして参加したことも成果があった。

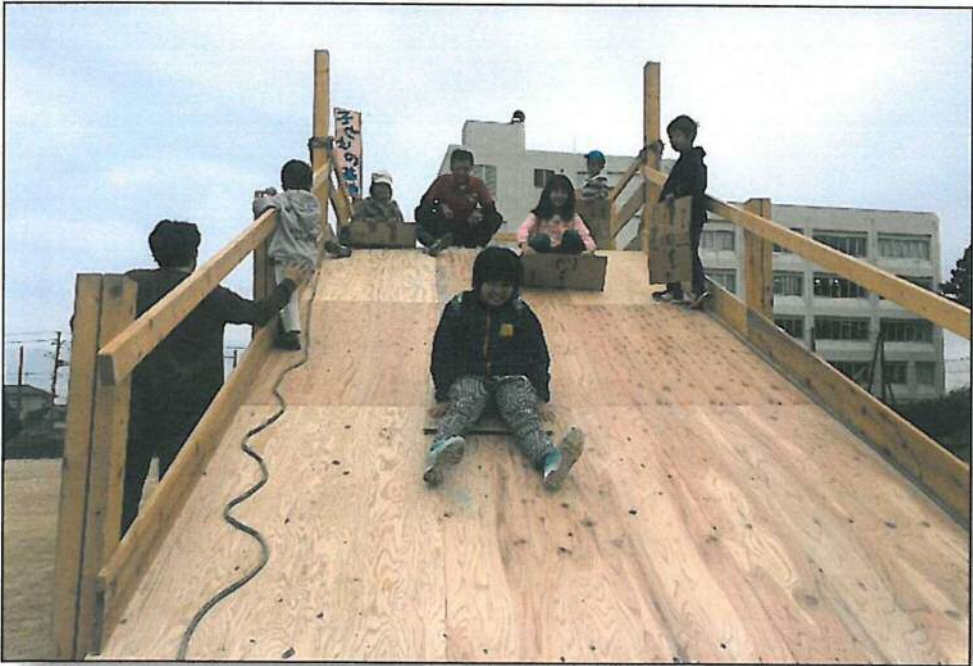
Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

アンケート調査を行い子育て支援に関する現状把握に努める。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

アンケート結果を検証し次年度以降の活動に繋げる。





# 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：広報紙「さかい輪」発行

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

会員（構成団体）及び地域住民にコミュニティ活動の理解と協力を得るため

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

広報誌の発行を増やす。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 「かわら版 さかい輪」を5回発行した。
2. 広報誌「さかい輪」1回発行した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

活動内容や情報の提供によって理解度が高まってきたこと、事業への参加者が増えたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

資料の提供及び回収に苦労したが、専門部等に呼びかけ協力を得たこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度も同様に「かわら版・広報紙」を発行し、活動の理解と参加を呼びかける。

## 西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：連合自治部広報紙「大道」発行事業

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当まちづくり協議会での中心的役割を担う自治会長に対し、連合自治部活動の理解と意識啓発すると共に、地域住民に連合自治部の活動内容を周知する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域活動の中心を担う各自治会はじめ地域住民に対し、連合自治部の活動の理解と地域活動への意識啓発を図る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

連合自治部で行った1年間の活動事業のトピックスを掲載し、地域活性化に努めた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所地域課

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

コミュニティ活動についての理解を得られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域課題を判断し、地域のニーズに合ったテーマ選択に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度以降も連合自治部の1年間のトピックスを掲載し、地域住民の意識高揚を図る。

## 西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

### 活動名：私たちの海岸保安林保全活動

#### 活 動 内 容

##### Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

海岸に沿って植林された松林も近年急速にマツクイムシ被害が拡大しその美しい松林が立枯れし飛砂・塩害が日常生活へ大きな影響を与えることが心配されている。

##### Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

海岸保安林の保全の大切さを理解し私たちが何をすればよいのか、行政、地権者、活動ボランティアと一緒に、地域一体感を醸成し保全活動を進めること。

##### Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 行政と協力しコンサルによる五十嵐浜防風林全体の実態調査を実施。
2. コミ協各自治会長と関係者による現地見学と勉強会。
3. 県・市・ボランティア団体とコミ協との合同保安林保全整備の実施。

##### Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

海岸保安林保全活動ボランティア3団体

#### 実 績・効 果

##### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

今回多くの人々に保安林保全活動の大切さと具体的活動の意識付けができたこと。

##### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 先人達の、この地を強風による飛砂・塩害など自然災害から暮らしを守るこれまでの努力・成果・必要性が気薄となり今の生活環境が当たり前のように受け止められていること。
2. コミ協各自治会長に地域の垣根を越えた保全活動の大切さと実践活動への理解・協力をお願いしたこと。

##### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 次年度以降も、一人でも多くの方々に参加できる保全活動を計画・実践すること。
2. 自治協議などを通じて「海岸一斉清掃」行事例のように、広域全体活動として定着できるよう提言して行くこと。



## 西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：テーマ「狭あい道路の解消」行政コンサルとの共同研究参画

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の道路が狭く行き止まりが多くある。災害時の避難路が確保しにくい、また歩行者の安全・安心を十分に確保できないなどの生活基盤が整備されていない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

現実的に住民や地域で出来ることを考え、解決に向けたイメージを作成し提起すること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1, 行政と協力しコンサルによる街づくり勉強会を立ち上げた。
- 2, 狭隘道路・行き止まり解消へ向け地域実態を調査した。
- 3, 解決課題に論点を絞り目指す街づくりイメージを検討した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

行政より外部コンサルタント派遣を受けた。

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域の街並みは、昭和の高度成長期に住宅地として造成され、私道が多く道路が狭く複雑で万一の災害対応や生活道路として機能していないこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

暮らしやすい街にするには、地域住民にどの様にイメージを提起できるのか。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 1, 次年度以降も、課題解決に向けて行政と連携し街づくり部会活動に組み入れる。
- 2, モデル地区を設定しイメージを提案すると共に具体化を検討する。

## 西区 真砂小学校区コミュニティ協議

活動名：スポーツ部会平成26年度事業計画

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

住民間の触れ合いが少ない中、世代交流と親睦を図るため四種の異なった事業を実施し、所期の目的を達成する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

校区住民の世代間交流と親睦を図るため四種のスポーツ事業を通じて住民の健康志向と活性化に期待する。

昨年実施したグラウンドゴルフ太極拳に加え、新たに親善ゴルフ大会を計画する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

I、真砂・松海が丘連合野球リーグ戦及び信金杯創設30周年記念兼日報杯トーナメント大会、

リーグ戦：4月6日～5月25日 信金杯兼日報杯：6月1日～8月3日

II、第2回町内対抗グラウンドゴルフ大会 開催日：10月26日（日）9：00～12：00

秋晴の好天に恵まれ3ラウンドを行った。

III、初心者のための太極拳体験講習会、真砂小学校区内住民 第1回目：H27.2.13

参加者17名 第2回目：H27.3.13 参加者7名

IV、第1回真砂コミ協町内対抗ゴルフ大会 実施日：平成26年10月2日 参加者：7組28名

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

日本太極拳連盟公認指導員 山田 弘氏

## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- I 大会参加者は20歳代～40歳代と若い年齢層で、町内の防災、防犯、ECO 事業の中心となり町内活動の中堅として活躍しており、12月に開催される納会等で交流・親睦の実を挙げ、絆を深めている。
- II ゴルフ経験のない男女だれでも参加、プレーできるので、今後の地域融和を図るべく充実したコンペに持って行くようにしたい。芝生の植生が行われた真砂小学校のグラウンド利用も考えたい。
- III バランス感覚と下半身の筋力を鍛え身体全体の血流を良好な状態に保持できる様丁寧なストレッチと太極拳の難しい手足の動きに挑戦した。参加者は少なかったが、指導者によれば、目の届く指導が出来て良かったと言っていた。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？



第2回町内対抗グラウンドゴルフ大会、開催日：10月26日（日）9：00～12：00



第1回真砂コミ協町内対抗ゴルフ大会 実施日：平成26年10月2日





# 西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：平成26年度 交通安全・防犯部会事業計画

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

通学路に歩道のない箇所もあり、小さな交差点もあり、朝夕のラッシュ時での事故防止が最大のポイントである。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・通学時の見守りと立哨による交通事故防止策
- ・夏場での海岸風紀や公園での事故防止などパトロールを重視したい

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・小学校通学道路に立ち、学校前まで通学生に同行する。(春秋交通安全週間)
- ・夜の地域街灯の様子見(5月11日、9月21日)
- ・夏場の海岸パトロール(小針浜8月2日、夕日コンサート8月9日)
- ・中央公園の地域、祭りパトロール(8月2日)
- ・青パト活動の申請、許可公布(2台→西小針台3丁目、真砂2丁目一年間実績31回)

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 1、道路の歩道のない箇所がこの地域に多い。安全誘導に苦慮している。  
幸い子供の事故は発生していないが、高齢者事故の発生が増えて来ている。  
402号線は歩道区分が白線でしかなく、歩行者、自転車が一緒に危ない。  
自転車人身事故防止策を考えなければならない。
- 2、坂道が多く、雨でも雪でも滑りやすい。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

・夏場の海岸パトロール（小針浜 8月2日）



青パト出陣式（真砂小学校）

## 西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災活動事業・生活環境部会26年度計画

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- 1、地域における防災対策の強化が必要。
- 2、保安林造成促進、飛砂対策、除雪対策の継続的な運動の展開。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- 1、コミ協の環境、防災会員の防災に対する認識を高め、今後の地域に於ける防災対策に資すること。
- 2、従来から取り組んでいる「地域環境保全」自主活動の継続。住民の「やる気」と「具体的な動き」を示して、行政と共に生活環境保全活動を継続して行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1、6/27東日本大震災被災者（福島県富岡町）避難住宅（郡山市富田町視察）、11/4自治会長会で報告会を行った。
- 2、①飛砂防止勉強会：3回／年程度（第6回～第8回）  
②ハマニンニク植栽：11月末～3月末までの冬季（積雪のない時期）

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 1、マスコミ報道の範囲しか知りえなかったが、被災者の仮設住宅視察と被災者の生活の声を聞いて原発事故は地域も社会も破壊し、修復できていないこと等周知した。
- 2、保安林、飛砂対策、除雪とも継続的な運動で行政と共に住民の要望が実現しつつあります。住民が要望を行政側に強く迫る事と同時に「やる気」と「住民側の具体的な動き」を示しながら徐々にではあるが環境整備が進行して来ている。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 1、新潟にも原発が有るので、しっかり視察時の教訓を生かすように努力すること。又当地で予想される各種の災害対策の強化を進める事。
- 2、引き続き「飛砂防止勉強会」も開催し、未だ「試行錯誤の段階」だと思いますが行政と共に改善に努める。



## 1、富岡町被災者仮設住宅（郡山市富田町） & 生産物放射能検査センター



## 2、平成27年3月21日「ハマニンニクの植栽」



## 西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：まさご体験教室

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の子どもたちにとっての安心安全な街づくり、健全育成を進める上で、子どもたちと地域の方々とのふれあう機会、関わりが少なくなってきたが、コミュニティ協議会によるこれまでの活動で少しずつ交流の機会は増えてきているが、十分に改善しているとは言えない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子どもたちと真砂小学校教職員、地域の方々が共に参加できる事業として、まさご体験教室を行い、共にふれあいお互いを知り合う機会、きっかけの場とする。また継続的なあいさつ運動を通じて更なる交流の進展をはかる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

5月31日～3月7日（20回実施） まさごわくわくスクールにてあいさつ運動、交流  
7月12日 こま回し・はねつき大会 9：30～真砂小学校  
10月26日 ふれあい広場「プレイゾーン」 13：30～真砂小学校  
11月8日 たこあげ大会 9：30～真砂小学校

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

自治会回覧に加え、NIC 真砂エリア情報スケジュールの裏面に案内を掲載して頂き、地域の方々の参加者の増加傾向がみられる。

## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 1、「こま・はね」「たこあげ」共に昨年度実施した内容であったが、連続参加児童も多く、ゲーム形式を取り入れる事により予想以上に盛況であった。「たこあげ」は学校グラウンドの芝生化により、より好適な環境となった。
- 2、「プレイゾーン」は折り紙ひこうき大会をメインイベントとして、子供たちのみならず、熱心に取り組むお父さんたちの姿が多数みられた。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

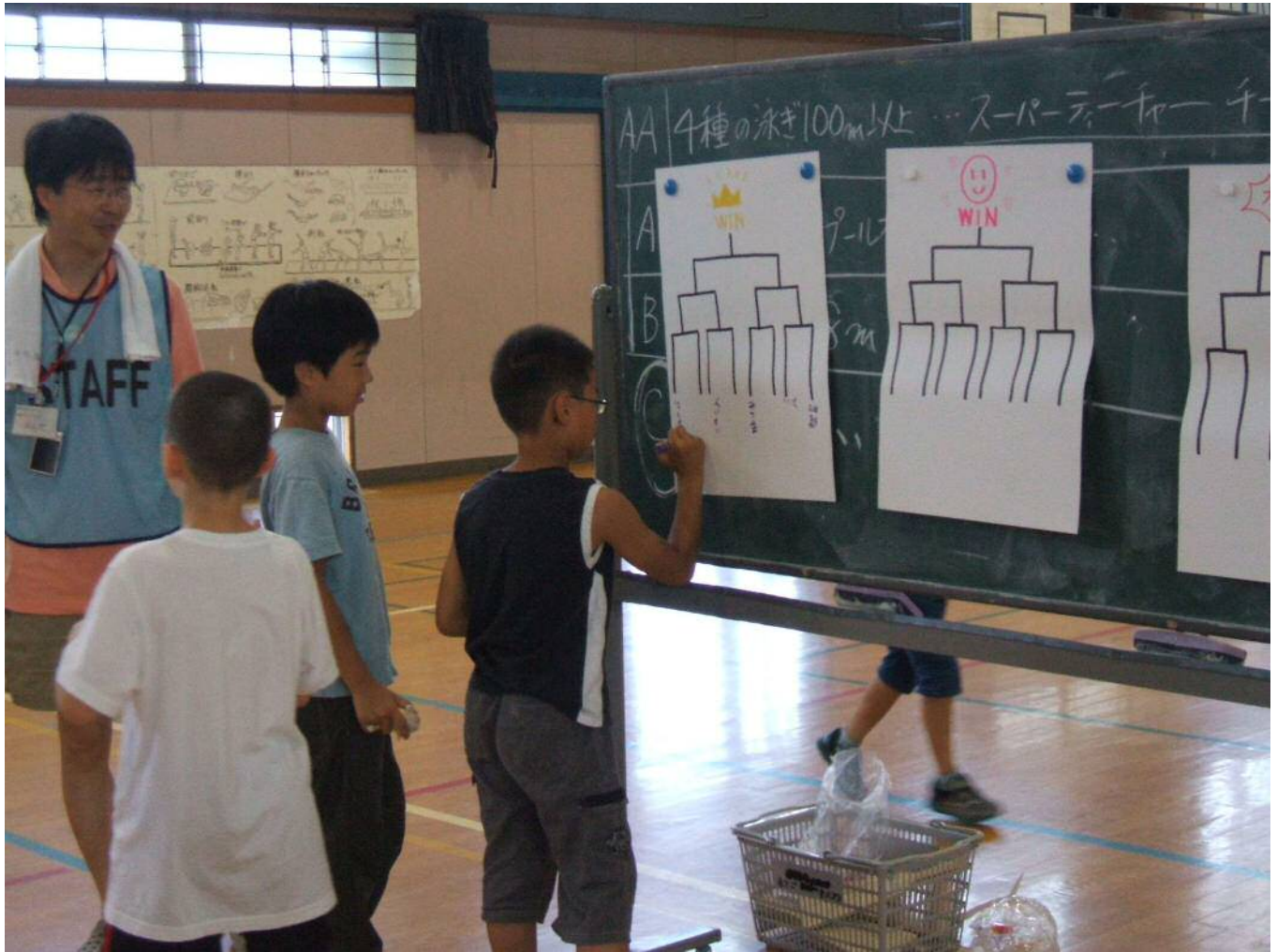
- ・準備段階で多くの遊具類保管場所の確保が困難であった。
- ・ごみは昨年度に比べ減少したが、さらに減らす努力が必要である。
- ・全行事ともに遊具数を絞ったため、收拾が付かない状況はほとんどなかったが、参加者数をよむことが難しい（事前申込制だが当日参加も受け付けている）。

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

「あいさつ運動」のアンケートを3/7「まさごわくわくスクール」で児童を対象に実施した（参加者数50名）。この運動を知っていた児童は4割弱で今後周知程度を挙げていく必要がある。8割が日常的に挨拶をしており、5割以上がこれから挨拶を進んでしていきたいと思っている事が分かった。1割前後の児童が挨拶は苦手なため今後もあまりしたくないと考えており、対策を考えて行く必要がある。



7月12日 こま回し・はねつき大会 9:30~真砂小学校



11月8日 たこあげ大会 9:30~真砂小学校





## 西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：①世代交流の集い「こどもたちと遊び隊」

②真砂元気塾「うきうき元気に生きましょう」

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当コミ協は、西区内では高齢化率の高いコミ協となっている。この為高齢化対策を重点的に行なっていきたい。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ① 古き良き時代の遊びを通じて子供たちとふれあい、日本文化の伝承を図るとともに、高齢者の生き甲斐づくりに資する。
- ② 高齢者の健康講座、又講演を通じた笑いや、男声コーラスグループによる歌声指導等により高齢者の健康増進を図る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

I 開催までの準備：平成26年5月15日（土）から部会活動を中心に①事業の実施場所の選定②対象者—真砂小学校区内に在住する者で概ね60歳以上の者、及び小学校1年生～4年生までを対象。参加予定者数 80名程度③・ゲーム：お手玉、あやとり、おはじき、メンコ、折り紙、動物将棋、五目並べ等々。・マジック

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

I マジック：新発田あやめマジッククラブ若桑利夫会長。場所：真砂会館

II 講演：新潟お笑い集団 NAMARA 代表江口渉。健康増進講座：区健康福祉課佐藤保健師。

男性コーラス：マンボウズフォー

## 実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

Iマジック及びゲームとも大好評であった。高齢者が子供たちと触れ合う場面を通じて生き生きしている姿が多く見られた。

II NAMARA 代表の講演を通じた笑い、男性コーラスグループによる歌声指導により高齢者の体力・気力の増進を図る事ができ反応も好評であり、所期の目的は達成された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？



マジック  
— 子供参加 —



マジック  
— 高齢者と  
子供参加 —



マジック  
— 高齢者と  
子供参加 —

8/20 世代交流の集い  
「こどもたちと遊び隊」

<写真> ②



江口さんの講話が  
随分です。



楽しい聴き入り  
での参加者

9/13 真砂元気塾  
「うきうき元気に生きましょう」



参加者と先生と  
げげと進めては  
場内。

## 西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：平成26年度文化部会事業

### 活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当コミ協は、西区内では高齢化率の高いコミ協となっている。この為高齢化対策を重点的に行ない、地域内の住民間融和を図り、意志の疎通効果を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ① 6回写真教室：例年の様に講師を招いての座学、“地域の宝を探そう”をテーマとした撮影会を講師と共に撮影テクニックを主体として学び、西区（特にコミ協地域）を回って地域の優れたもの（施設、碑文、他）を活写する。
- ② 写真展示：応募者を特に指名して（過去の応募者、教室の出席者）から写真を募る。文化部会員と講師の選んだ作品を真砂小学校文化祭で展示する。
- ③ 文化講演会：地域で（無理なら新潟市内で）これまでとは少し指向を変えた講師を考慮。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1、平成26年7月6日「第6回写真教室」会場：坂井輪コミュニティセンター、参加者：25名  
講師：新潟フジカラーフォト企画課長田中英司氏
- 2、平成26年8月31日「撮影会」会場：坂井輪コミュニティセンター、参加者：28名  
講師：地域の写真館「モノクローム新潟」社長 原澤氏
- 3、平成26年10月26日「写真と絵手紙の展示」会場：真砂小学校の教室、観覧者250名
- 4、平成27年2月8日「文化講演会」会場：坂井輪コミュニティセンター、参加者：82名  
講師：新通「護念寺（浄土真宗）」住職細川好円氏

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

上記既述



## 実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 1、今回の「写真教室」「撮影会」のセット企画で、
  - ①過去5年間継続してきた写真教室の指導をより効果的に習得できるチャンスにし、マンネリ化しつつある気運からの脱却を図ったこと。
  - ②それぞれの参加者に合ったアドバイスを直接お願いし、より早く撮影技術のレベルUPが図れたこと。
- 2、“地域の宝を探そう”のテーマ撮影会は時期、講師選択等都合・間合いが取れず「花」と言う静物撮影研修会で終わった。予めの準備を充分に行ってからの課題としたい。
- 3、写真展示会は真砂小学校の文化祭に合わせて行っている。もう少し小学生や地域の方々がもっと多く見て貰える様工夫しなければならない。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

3 平成26年10月26日真砂小学校文化祭協賛「写真&絵手紙展示」



4、平成27年2月8日「文化講演会」

